

# 善養寺便り

第十二号

平成二十八年十月号

発行

善養寺

## ◆桂雀々さん「善養寺おてらくご」

桂雀々さん来る！

九月二十四日(土)、善養寺は「善養寺おてらくご」と銘打つて、落語会をしました。嘶家は、あの桂雀々さんです。秋のお彼岸は例年、講演会でしたが、より多くの門信徒の方にお寺にお参りに来ていただきたいという思いから、初の試みとして、落語会を計画したのです。

桂雀々さんは、毎年自坊で落語会を開いていらつしやる京都のお寺のご紹介いただきました。

お寺での落語会は各地のお寺で開催されています。それは、落語の源流がお説教にあると言われるからで、実際仏教ネタの落語も少なからずあるようです。よく知られた「寿限無」も仏教ネタの一つだと思います。

今回、桂雀々さんという大変有名な方に来ていただくことができましたわけですが、雀々さんの、全身を使った！熱のこもった落語に、本堂内は沸きに沸きました。



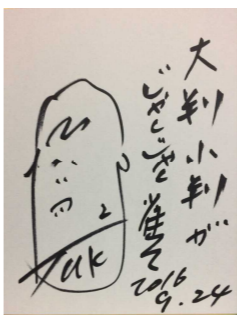
→音楽法要



まず、落語に先立ち「音楽法要」を勤めました。伊藤さんの素晴らしい敬礼文の独唱もあり、とても良い音楽法要を勤めることができました。

音楽法要が順調に終わったので、予定していた開演時間を少々早めて雀々さんが、登場していただきました。それはそれは楽しかったこと。話の枕には地方での落語会の様子や、台湾から来た人たちに落語を聞かせた話などをとても面白く語り、そしていつしか有名な「手水」という話になりました。聞きにこられた皆さんみんなが、大いに笑い、大いに盛り上がりました。

最後に、雀々さんからも、とても楽しい寄席だったとの感想をいただきました。



↓  
雀々さんを囲んで総代さん、役員さんと

◆「すみれの会」より



九月七日すみれの会は、社団法人日本花文化普及協会認定講師の谷口裕先生をお招きして、「プリザードフラワー」薔薇の美アレンジ」を行いました。プリザードフラワーは生のお花を特殊加工したもので、長く美しいままの形態のお花を楽しむ事ができます。この日は先生が予め開花させてくださって美しく花開いたバラを使用し、玄関などに飾れるアレンジメントを作りま

した。皆さん思い思いのリボンやパール、オーナメントで飾り付けた美しいバラのアレンジメントを楽しく制作されました。



◆二十八年度「報恩講法要」のご案内

今年度の報恩講法要を左記の日程で勤めます。

「報恩講法要」は宗祖親鸞聖人の遺徳を偲ぶ、浄土真宗の寺院、門信徒においては最も大切な行事です。

報恩講法要は法ほつちゆう中の各寺院住職が、お互いの報恩講に出勤しあい、色衣を着て読経します。

今年のご講師は、龍谷大学より深英俊先生をお迎えします。先生は、本願寺派総合研究所にお勤めの傍ら、龍谷大学でも教えておられます。

今年はどうな話でしょうか。

皆さんどうぞお楽しみに！

多くの門信徒の皆様のお参りをお待ちしております。

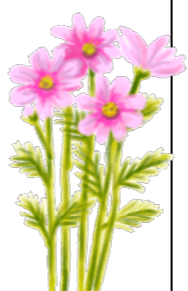
記

十一月一日(火) 午後一時より

二日(水) 午後一時より

尚、両日ともお齋(昼食)を用意いたします。

どうぞお参りください。



訂正

以下の行事の日程等が都合により変更になりました。お気をつけください。

十二月仏教講演会 十二月十三日(火)から

十二月十四日(水)に変更

します。

伝灯奉告法要団体参拝

三月十一日(土)と四月十四日の二回とし

ておりましたが、

善養寺の参拝は三月十一日のみとします。四月は中止します。

連絡

二十八年度護持会費をまだご納入いただけてない方は出来るだけ十月中にご納入お願いいたします。

伝灯奉告法要懇志も併せて受付中です。「一口二〇〇〇円以上」としております。本願寺より各寺院に懇志の依頼が来ていますので、どうぞご協力いただきますようお願いいたします。

十月のことば

失ったものを数えるな、

残されたものを最大限に活かせ。

ルードリッヒ・グッドマン(パラーリンピック創始者)

「伝灯奉告法要」に参拝しませんか。

別紙の通り、姫路中組で三月一日(土)に西本願寺の伝灯奉告法要に参拝します。

善養寺としては、バスを1台貸し切つてで参拝したいと思えますので、定員の四十五名で行きます。

参加費は九千円です。

皆さん一緒に本願寺に参拝しましょう！

現在、参加希望者は十一名です。

残席三十四人となっております。

定員になり次第締め切りますので、参加参拝希望の方は、十一月二十日頃まで善養寺まで参加費九千円をそえて申込み下さい。とりあえず、お電話だけでも受け付けます！

バスは送迎とも、

龍野市山下←善養寺←姫路駅南・・・←京都

の運行予定をしております。